

「民主党女性議員ネットワーク会議」アピール

2011年3月11日に発生した東日本を襲った巨大地震とそれに伴う津波により2万人を超す方が犠牲となり、未だ多くの方々が行方不明のままです。3年以上が経過したにもかかわらず、今なお、その復興にはほど遠く、多くの被災者の方々が被災地で、また避難先で、困難な暮らしを続けています。福島第一原子力発電所では事故収束の目処すら立っていません。

高いコンクリートの防潮堤よりも緑の木々を連ねた命の防潮堤へ、処理不可能な「核のゴミ」を出し続ける原発よりも自然とのやさしい関係を構築する再生可能エネルギーへと方向転換し、子どもや孫たちへ豊かで美しい地球を譲り渡すことこそがこれから最も大切にしなければならないことではないでしょうか。

また、武器輸出三原則を国会での審議を経ることなく閣議決定によって一方的に変更し、憲法解釈を変え集団的自衛権行使を開こうとするなどの動きは、民主主義国家として平和構築や人権確立にまい進してきた戦後日本の努力を無にしかねません。「平和国家」としての日本のイメージを損ね、ひいては国際社会における信頼感の喪失にもなりかねないこのような動きは、断固として阻止していかねばなりません。

と同時に、私たちは、このネットワークの力を活かし、全国一斉にそれぞれの自治体において、男女雇用機会均等法を改正し強化するため意見書を提案する、性暴力被害者ワンストップサービスセンターの設置や拡充および法整備を求めるなどの具体的行動を展開していきます。

「民主党女性議員ネットワーク会議」に集う私たち一人ひとは、日本のどこで暮しても、女性も男性も性的マイノリティも、子どもも若者も高齢者も、障がいの有無にもかかわらず、一人ひとりが大切にされ、その人らしい人生を歩むことができる「共に生き、支え合う社会」を構築するため、全国の仲間と手を携え、心と力を尽くして粘り強く取り組みます！

2014年7月22日

「民主党女性議員ネットワーク会議」参加者一同